



なぜ矯正するの？

No.56

歯並び・かみ合わせにはいろいろなタイプがあります。まずは、チェックをしてみましょう！

- ①乱ぐい歯：歯並びがガタガタ
- ②すきっ歯：歯ならびに隙間がある
- ③すれ違いのかみ合わせ
- ④出っ歯：下より上の前歯が出ている(4mm以上)・口元が出ている・口が閉じにくい
- ⑤うけ口：下より上の歯が内側に入っている・下あごが出ている・口が閉じにくい
- ⑥口元が出ている：上下とも前歯が出ている・口が閉じにくい
- ⑦かんでも歯と歯が当たらない：上下の歯がくっつかない・鼻の下が長い・口が閉じにくい
- ⑧かんだ時、下の歯が見えない：上が覆いかぶさり下の前歯が見えない・鼻の下が短い・えらが張っている
- ⑨正面から見た顔が非対称：上あごや下あごが左右にずれている
- ⑩肩こり・頭痛・顎関節症など：一見、歯ならびは悪くないのかみ合わせが原因で症状が出る
- ⑪上記の複合型



いかがですか？1つでも当てはまる項目はありましたか？では、なぜこれらの項目が悪いのでしょうか？当てはまった項目番号を見てみてください。

- ①食べ物が残りやすく、歯ブラシ等によるお手入れも非常にやりにくくなります。当然、むし歯や歯周病にかかりやすく、前歯であれば見た目も気になります。
- ②隙間の開き具合にもよりますが、物が挟まりやすく、やはりむし歯や歯周病の原因になります。発音にも影響が出る場合があります。隙間が、上の前歯であれば見た目も気になります。
- ③横の上下の歯がハサミのようにかみ、物が挟まりやすく、むし歯・歯周病のリスクが高くなります。また、これらの治療は困難となり、うまくりカバリーできなくなることもあります。かみにくい・舌が歯にいつも当たる・頬舌をよくかんでしまう等の原因となることもあります。

- ④口元・横顔など見た目が気になります。口が閉じにくいと口呼吸になります。前歯が乾燥しやすく、前歯に白い線ができたり、唾液で洗い流される時間が少ないため歯周病にかかりやすくなります。前歯でものがかみ切れない等機能的な障害もあります。
- ⑤ほとんどの方が大なり小なりコンプレックスを持ちます。発音にも影響が出ます。基本的に、発音は、母音を中心にいろいろな器官を使って音色を変え、子音に変化させています。このタイプでは、歯に関係する音、すなわち歯擦音(サ行・タ行)が障害を受けやすくなります。
- ⑥④とほぼ同じです
- ⑦歯と歯がかみ合うところが少ないため、食事がしにくくかんでいる歯は負担が大きくなります。そのため、経年的に歯周病にかかりやすくなります。かんでいない歯は、負担は軽いのですが、自浄作用(たべものところすれることで汚れが減少すること)がなくなり、歯垢が残りやすくなります。発音に障害が出たり、顎関節症になる傾向が多いともいわれています。
- ⑧かむ時、下の前歯が上の歯茎にかみ込み、上の歯茎が痛くなってくる場合があります。経年的に歯周病にかかる傾向が多いです。えらが張っている人はかむ力も強く、歯が減ってしまう等のいろいろなトラブルがよく生じます。
- ⑨お顔立ち自体も気になります。前や横のかみ合わせが反対になったり、かみ合わなかったりします。(⑤⑦参照)
- ⑩歯並びが整っていても、特定の歯が強く当たっていたりすると、あごをうまく動かせなかったり、かむとあごが最後にズレてしまったり、しっかりかみ合わせがいけないと、歯軋り・食いしばりをはじめいろいろな障害が出てしまうことがあります。

もし、心当たりがございましたら一度ご相談なされてみてはいかがでしょうか。

